

平成26年度 東蒲原郡外国語活動研究部 活動報告

部長 小島 孝夫

1 研究主題

外国語活動における教科担任と ALT との効果的な T.T 授業のあり方を探る。

2 研究の概要

- (1) 研究授業をとおして、主題に迫るための方策を探る。
- (2) 講師を招聘して、外国語活動についての知見を広め、指導力の向上を図る。
- (3) 授業実践をもとに、情報交換及び指導のあり方についての研修をする。

3 研究の実際

回	実施日	研究及び研修の内容
1	4月11日(金)	○正副部長、授業者の選出 ○研究主題と年間活動計画の立案
2	5月7日(水)	○6月18日実施の公開授業についての指導案検討会
3	6月18日(水)	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">    </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>○授業公開及び協議会 三川小学校 第5学年 単元名「I like apples 好きなものを伝えよう」 授業者：三川小学校 吉井 辰成 教諭 ALT：リースーリン 指導者：西川小学校 齋藤 望 教頭</p> <p>【単元の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝えようとする。 ・好きなものや嫌いなものを表したり、尋ねたりする表現に慣れ親しむ。 ・日本語と英語の違いに気付く。 <p>【本時のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものや嫌いなものを尋ねたり、答えたりしながら、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。 <p>【講じた具体的な方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学習指導案で授業における HRT と ALT のそれぞれの役割を明示し、それをもとに、授業の準備をしたり、柔軟に授業シフトを変えたりすることができた。 ②メイン・アクティビティの導入では、HRT と ALT とが英会話ややりとりのモデルを示すことで、児童が不安なく、かつ分かりやすく学習活動に入っていくことができた。 ③意欲的に児童と ALT が相互に質問したり、答えたりすることができるようにゲーム要素を取り入れたメイン・アクティビティをした。 </div> </div>
4	8月20日(水)	<p>○指導力向上研修「模擬授業方式の研修会」 講師：新潟大学教育学部附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘 様</p> <p>【研修内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校外国語活動の動向及び現状について ②具体的な授業実践の紹介 ③講師先生の研究の紹介 「授業のコーディネーターは、HRT。リスニングは、ALT。デモンストレーションの時は、共同で。」等実技も交えながら、研究テーマに沿った研修を行った。
5	9月10日(水)	○外国語活動実践報告会 会員各自が実践レポートを持ち寄って意見交換及び情報交換を行った。

4 成果と課題

研究主題を受け、外国語活動の授業は、どのように工夫や配慮、準備や授業運営をしていけばよいか、それぞれの部会で有意義な研修を積むことができた。研究授業をとおして、研究主題に謳っている「教科担任と ALT との効果的な T.T 授業のあり方を探る」ことが有意義に検証できた。また、指導力向上研修では、講師から具体的な授業実践の紹介を含めて、貴重な情報を提供していただいたり、教育技術を教わったりすることができた。

部会運営や内容に大きな課題はなかったが、研究授業を引き受ける部員や部長・副部長を選出する際の課題は残る。進んで引き受ける会員がいる場合は問題ないが、できるだけ連続して同じ会員が授業者になったり、正・副部長になったりしないようにするべきではないかと考える。